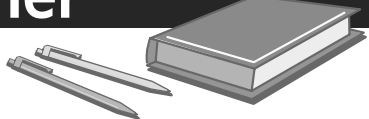


Book Review Corner

ブックレビューコーナー



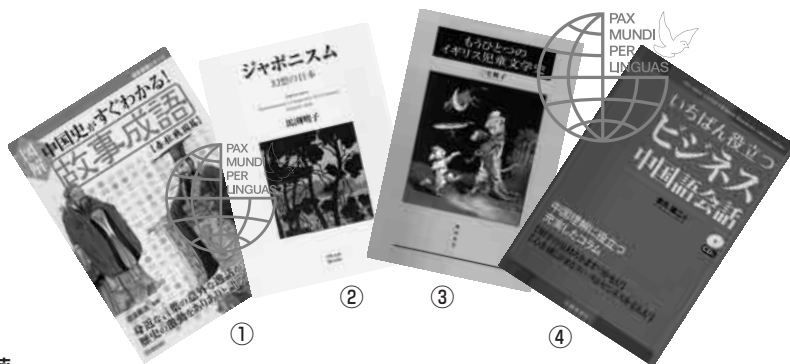
① 渡邊義浩 監修

『図解中国史がすぐわかる！ 故事成語 春秋戦国篇』

(学研)

本書は故事成語を通して、中国の歴史を解説する特徴を持っています。誰でも知っているような有名な故事成語から、あまり馴染みの無いものまで、歴史的背景と共に説明されており、難しい漢字にはフリガナが付されています。今年度中国語学科に入学した皆さん、あるいは中国に関心がある方にいかがでしょうか。95ページで図版も多用されているので、気軽に読める1冊です。

222.01-Zuka-1 (T.F.)



② 馬淵明子 著

『ジャポニスム：幻想の日本』

(ブリュッケ)

19世紀後半に浮世絵版画や絵画、工芸品等の日本美術が西欧美術にさまざまな影響を与え、ジャポニスムという一大現象になったことはよく知られています。

本書では、モネ、ゴッホ、北斎等の作品を通して、それらの作品に現れる彼らの願望に基づいた日本のイメージを探り、美術における影響を様々な角度から検証しています。内容も然ることながら、多くの作品がさし絵として使われており視覚的にも楽しめる1冊となっていますので、ぜひご一読ください。

702.06-Mab (H.T.)

③ 三宅興子 著

『もうひとつのイギリス児童文学史』

(翰林書房)

本書はイギリスの著名な諷刺雑誌「パンチ」(1841年—1992年)にかかわった作家・画家について書かれています。

「パンチ」誌をめぐるには、ルイス・キャロルは愛読者で、テニエルにさし絵を依頼、A.A.ミルンは同誌出身の作家でシェパードがさし絵を担当しています。本書はアリスやプー以外にも、イギリスでの多くの児童文学や、さし絵を系統的に紹介しています。いつまでも私たちの中にある子どもへの共感としての児童文学への興味を持たせてくれる書物です。

909-Miy (S.O.)

④ 金丸健二 著

『いちばん役立つビジネス中国語会話』

(池田書店)

中国には多くの日本企業が進出しており、中国で働く日本人も増えています。しかし、中国人との会話で戸惑う人は少なくありません。ビジネスにおける中国語とはどのようなものでしょうか。

本書では、ビジネスにおける様々な場面を想定して、中国語の会話例が紹介されています。仮名でのヨミも振られており、発音がわかりやすく説明されています。中国語の日常会話とは少し違ったビジネス会話も学んでみましょう。

670.92-Kan (N.I.)